

【特別寄稿】桐技会 会報 No. 6 & 卒業生からの報告

筑波大学 医療科学類同窓会 『桐技会』



第3回桐技会総会が6月12日に開かれ、つくば市内にいる会員を中心に10名ほどが集まりました。総会では、昨年度の活動報告と今年度の計画について話し合われました。総会後には会場を移して懇親会が行われました。当日は、本会監事の浦山先生にもご参加いただきました。

【卒業生からの近況報告】②

筑波大学大学院人間総合科学研究科生命システム医学専攻で研究を続けている柴綾(旧姓:渡邊)さんです。

私が医療科学類を卒業して、2年半経ちました。あっという間の2年半でしたが内容はすごく充実していました。

私は卒業後、本学大学院修士課程 フロンティア医科学専攻に進学しました。医療科学類卒業生の進路は大きく病院就職、研究者(進学)、企業への就職の3つに分けられますが、4年生の時点で私はまだどの道も選択することができず、選択肢の幅を広げる目的で修士への進学を決めました(もちろん研究が好きだったというのがあります)。修士課程に進んでからは卒研時代とは比

べ物にならないくらいやりたい研究の量が増え、どんどん研究にのめり込んでいきました。私の研究目的は肺癌の新規腫瘍マーカーを発見することなので、発見した腫瘍マーカーを自ら臨床応用できるような立場になりたいと考えるようになり、臨床検査技師として病院に就職したいと思うようになりました。

しかし、修士課程は2年間と非常に短く、私がやりたかった研究を完遂するには時間が全然足りませんでした。卒研時代から3年半続けてきた研究を志半ばで諦めることはできず、博士課程への進学も考え始めました。修士の2年生の時は本当に悩みました。病院に就職するには博士に進学するよりも少しでも早く現場に出て経験を積んだ方が良いのではないか、でも、研究も続けたい。この悩みを解決してくれたのは私の優しい指導教官でした。「そんなに悩むなら両方やっちゃえばいいじゃん。」というありがたいお言葉を頂き、現在私は博士課程に進学して研究を続け、それと同時に附属病院の病理部で非常勤の臨床検査技師として働かせて頂いています。私にとって、現場を知るのは本当に良いことでした。研究をやっていく動機として上記のように「発見した腫瘍マーカーを自ら臨床応用したい」という思いがあったのですが、運良く新しい検査を開発できたとしても実際の現場を知らなければどのように臨床へ還元したら良いかがわからなかったと思います。今の病理検査の現状とその限界を知ることで、さらに研究意欲も向上したように感じています。

これは蛇足ですが、私は8月に結婚しまし

た。研究もしたいし、仕事も覚えたいけど、プライベートの幸せも捨てられませんでした。私はまだ半分学生だし結婚は早かったかもしれないけど、大切な人が傍にいて頑張れることもたくさんあると思います。今年は私にとって大きな変化の年でした。博士課程に進学し、病院で働き出し、結婚。でも全部が自分で選んだことで、全部がしたかったことなので、今毎日がすごく充実しています。もちろん私が欲張って色んなことを同時にできるは、格別のご配慮を下さる指導教官、職場の上司・先輩、そして夫のおかげであり、皆さんへの感謝の気持ちはいつも忘れずにいたいと思っています。

2者選択で迷った時は両方やっちゃうという選択肢、意外とオススメです。仕事・学業・結婚、同時にやってもやる気次第で何とかなるもんですよ。

【第3回生からの報告】

今年3月に臨床検査技師国家試験を受験した3回生に、受験勉強について振り返ってもらいました。4年生も国家試験まであと半年。早め早めの準備を心掛けましょう。

Q. どのくらいの時期に始めたか。

A. 本格的に始めたのは1月の終わりからですが、2学期のうちから授業(フロンティア)の復習程度のことはしていました。

Q. どのくらいの時間行ったか

A. 1日8時間を1カ月

Q. どんな参考書を使ったか。

A. 『臨床検査技師国家試験問題注解』金原出版

『パワーアップ語呂専科』考古堂書店

Q. おすすめの勉強法

A. 過去問と同じような問題ばかりなので、とにかく過去問を解いて覚える。理屈で分かるものは理解して覚える。理屈で覚えられないものは、ゴロで強制的に覚える。

Q. 時間配分

A. 問題数に応じた時間配分にしました。

Q. 勉強の合間に行ったこと

A. ジョギング、サイクリング、飲み会、料理

Q. 試験当日の様子

A. ・学校ごとにまとまって席に着くので、いつもの試験と同じようにリラックスして受けられた。

・午前と午後で同じ科目から出題されるので、午前中の試験で記憶が不明確な分野があったら、お昼を食べながら確認しておくと思う。類題は出ないので、出来なかった問題は気にしない。

・空いている時間、近くの人となるべく話すようにすると緊張しなくて済む。

・周りの人が無駄に頭良く見えるので、惑わされないようにする。

Q. どのくらいの時期から始めたか、どのくらいの時間行ったか。

A. 3年の春休みからちよつとずつ、やってました。就職試験が四年の夏にあったので。本格的にやりだしたのは、10月くらいです。

Q. どんな参考書を使ったか。

A. 過去5年分入った過去問と、グリーンノートです。

Q. おすすめの勉強法

A. とにかく過去問をやって、初めのうちは一問一問、間違えていなくても教科書と解説を見て確認していました。三回以上、期間を開けて繰り返し解きました。

Q. 時間配分(教科ごとで)

A. 得点配分が多い教科を重点的にやり、医用工学や寄生虫などあまり出ないものは年明けに2回くらいやったくらいです。

Q. 勉強の合間に行ったこと(気晴らしなど)

A. アルバイトしてました。

Q. 試験当日の様子

A. 私は、緊張して2日前から一睡もできずに望みました。試験の説明を聞いている間、緊張のあまり気持ち悪くなりそうでしたが、何も考えないようにしました。今までたくさん勉強してきた自分を信じようと思いました。昼休み、友達と答え合わせをするのはやめたほうがいいですね。一問迷って決めたほうが違って、すごく後悔して、一問だけのためにひきずってました。けど午後には響きはしませんでしたけど。すっきりしないのでやめたほうがいいです。